

日本エコツーリズム協会設立20周年
一般社団法人日本エコツーリズム協会設立記念フォーラム

日本型エコツーリズムのミッション

2019.12.2



一般社団法人日本エコツーリズム協会 会長

田川 博己

日本エコツーリズム協会田川会長の主な公職

- 日本旅行業協会(JATA)会長
- 東京商工会議所副会頭(11月1日にご就任)
- 公益財団法人日本観光振興協会副会長
- WTTC(World Travel & Tourism Council)副会長
- 一般財団法人ロングステイ財団会長
- 一般社団法人山陰インバウンド機構会長
- 公益財団法人日本生産性本部理事
- 一般社団法人日本電子情報技術産業協会(JEITA)副会長
- 一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会(JSTO)会長

日本エコツーリズム協会設立20周年
一般社団法人日本エコツーリズム協会設立記念フォーラム

日本型エコツーリズムのミッション

2019.12.2



一般社団法人日本エコツーリズム協会 会長

田川 博己

世界と日本のツーリズム産業のインパクト

観光は雇用や企業の創出、社会基盤の開発を通じて社会経済
の発展を牽引する重要な役割



出典)UNWTO「Tourism Highlights」

日本
2017年

16人に1人
※6.4%

353億米ドル

6.8%

4.1%

18%

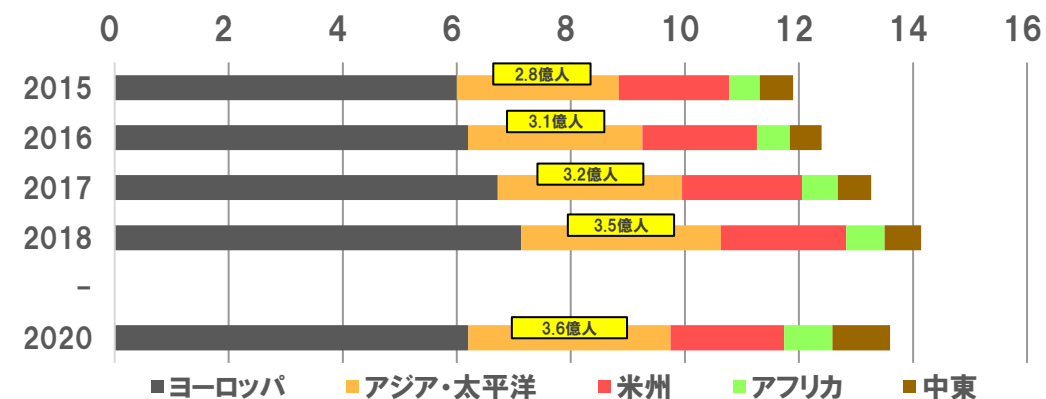
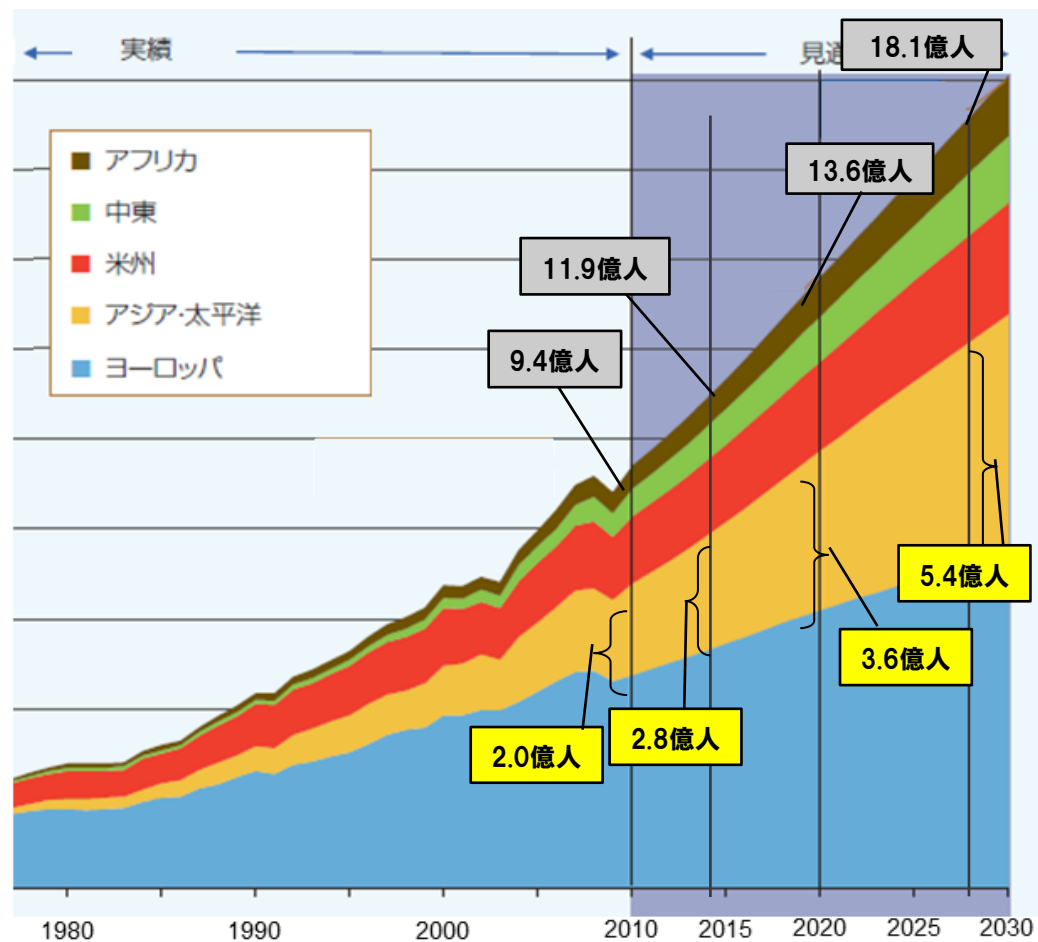
※ 出典)WTTC「Travel & Tourism Economic Impact 2018」

注1:日本の「全サービス輸出」のみ国際収支統計の旅行収支(受取)をサービス(受取)で割り算出

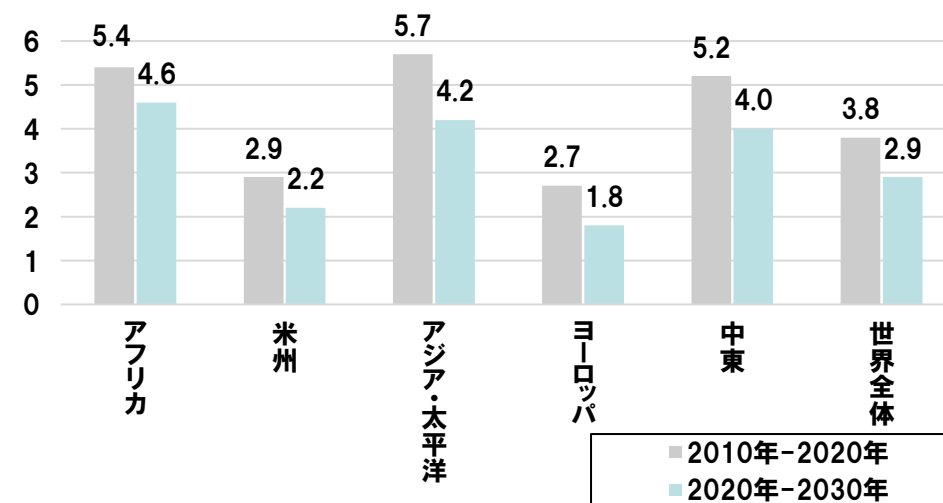
アジア・太平洋地域は世界の中で最も高い伸びが予測される国際観光市場

国際観光客到着数は、長期予測を2年前倒して**2018年に14億人に到達**

国際観光客到着数の推移と今後の予測



国際観光客到着数の年平均伸び率予測



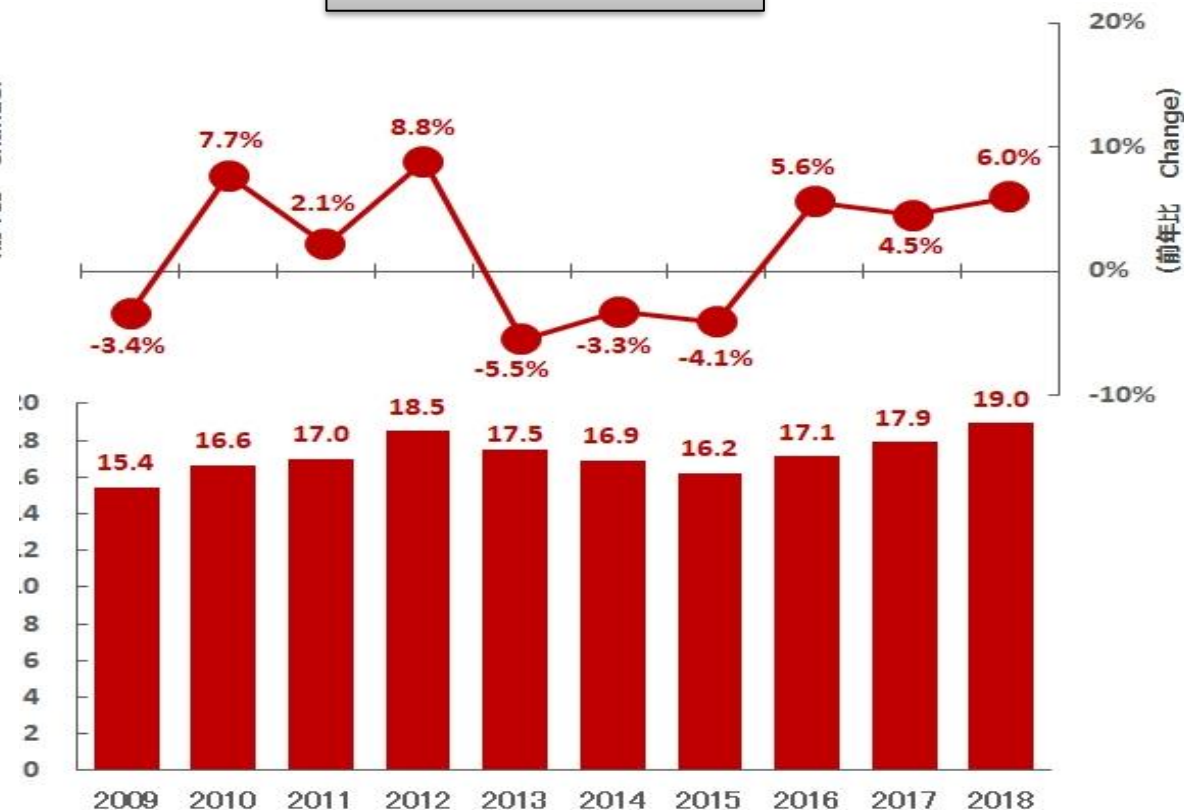
2018年訪日外国人数は前年比8.7%増の約3119.2万人（確定値）

2018年日本人出国者数は前年比6.0%増の1895.4万人（確定値）

2018年訪日外国人数



2018年日本人出国者数



出典元：日本政府観光局

2018年訪日外国人数と日本人出国者数合計は5014.6万人（確定値）と過去最高

日本の 観光競争力

World Economic Forum (WEF ダボス会議)
観光分野における国際競争力ランキング2019(TTCIレポート)より

2019年 順位	2017年 順位	順位 変化	国名
1位	1	→	スペイン
2位	2	→	フランス
3位	3	→	ドイツ
4位	4	→	日本
5位	6	↑1	アメリカ
6位	5	↓1	イギリス
7位	7	→	オーストラリア
8位	8	→	イタリア
9位	9	→	カナダ
10位	10	→	スイス
11位	12	↑1	オーストラリア
12位	14	↑2	ポルトガル
13位	15	↑2	中国
14位	11	↓3	香港
15位	17	↑2	オランダ
16位	19	↑3	韓国
17位	13	↓4	シンガポール
18位	16	↓2	ニュージーランド
19位	22	↑3	メキシコ
20位	18	↓2	ノルウェー

4位を維持

2019年: 4位
2017年: 4位
2015年: 9位
2013年: 14位
2011年: 22位
2009年: 25位

6の指標で世界1位に

公衆衛生
病院ベッド数
HIV非流行
マラリア非発生
陸上輸送力
殺人事件非発生率

国際観光ランキング 項目ごとの比較

- 日本 4位
- 中国 13位
- 香港 14位
- スペイン 1位
- イギリス 6位

プラスだが努力が必要:
魅力度は66位→59位

マイナス:保護区は56位→76位

プラスだが努力が必要:
レンタカー会社数は85位→43位

プラス評価:
昨年1位→2位へ。スイスが1位

《ポイント》
「保健・衛生」
「陸上交通インフラ」
は高評価

「サービスインフラ」、
「自然的資源」の改善が
引き続き必要

マイナス:動植物への脅威は129→134位と悪化。
水産資源乱獲が73位水産資源へ影響を与えている。

マイナス評価:78位→83位と昨
年度に引き続き下落傾向

プラス評価:衛生、病院ベッド数、HIV
やマラリア対策では1位

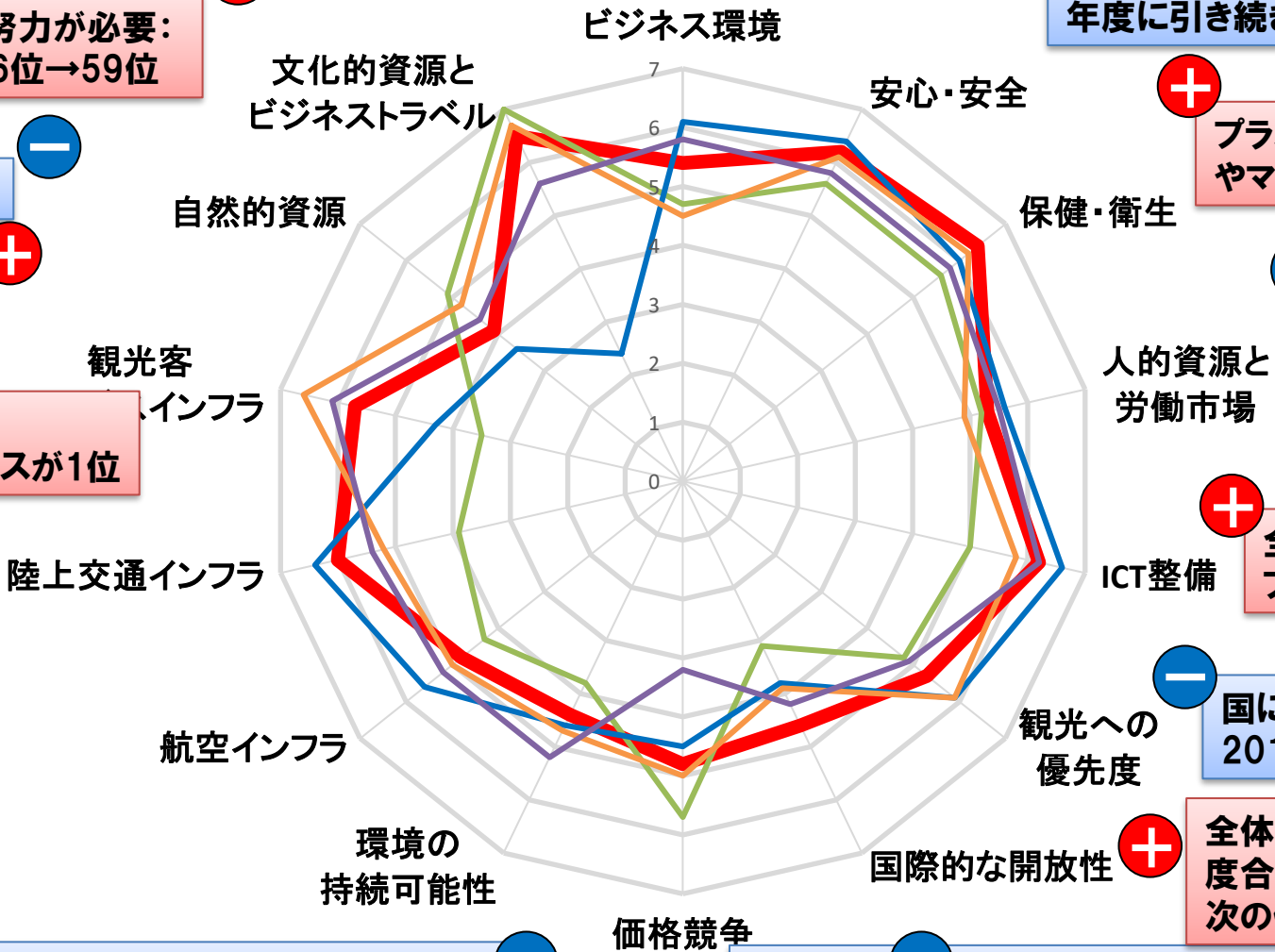
マイナス評価:飲料水サービスは
1位→45位

全体10位とプラス評価。特にモバイル
ブロードバンド環境は6位→2位と改善

国による戦略的なブランド評価
2017年42位→108位

全体で6位とプラス評価しかし査証緩和
度合は120位。G7内でEU域国の85位の
次の位置につけている。

マイナス:
昨年94位→113位へ。チケット・空港税が46位→94位



出所: TTCIレポートより
JTB総合研究所作成

WTTC(World Travel & Tourism Council 世界旅行ツーリズム協議会)

1990年創設された、**世界主要ツーリズム関連企業トップ約184名**で構成される民間の非営利団体 で
ツーリズムに関わる全ての主要分野を世界規模でカバーする唯一の団体
**国連世界観光機構(UNWTO)のカウンターパートとしてツーリズムに関わる調査研究、各国政府・ 国際機関に
対するロビー活動を行っている。 毎年WTTCグローバルサミットを各国で開催**



2012年4月 東京・仙台開催

2013年4月 アブダビ

2014年4月 中国・海南島

2015年4月 マドリード

2016年4月 ダラス

2017年4月 バンコク

2018年4月 ブエノスアイレス

2019年4月 セビリア

ツーリズム産業と平和・環境との関係

WTTC Global Summit2013 Abu Dhabi クリントン元米国大統領の特別講演

「大統領として多くの時間を世界の戦争の終結、相互理解の促進に取り組んできた。旅行・観光の中に、平和の大切さが表れている。」

「これからの20年の間に、旅行・観光産業は、エネルギー政策の再検討をリードすることになるだろう。それだけ観光産業は環境とのかかわりが深い。」

World Travel & Tourism Council (WTTC) The Global Summit 2019

・開催日時:2019年4月3日～4日

・開催場所:スペイン セビリア市

・テーマ:Changemakers 変化をもたらす者たち

将来の旅行・観光のビジョンを作り上げる上で、どんな変革が求められるのか

20のテーマを議論

リーダーシップ	テクノロジー	観光のチカラ	5G時代への対応
ダイバーシティへの対応	サステナブルツーリズム	自然災害への対応	地域との共生
旅行の安全性と円滑化	旅行データの連携	官民の連携	ビジネスモデルの変化
人材の確保・育成	政府への対応	ターゲット設定	地域の活性化
正当性の価値	アフリカのSDGs	気候変動と環境	人材(人の価値)

観光の将来像を描くうえで、様々な角度から観光への影響要因を察知し、変革を促すことが重要である

SDGs:持続可能な開発目標の始動

開発途上国だけでなく、世界全体で抱える問題を解決していくための「持続可能な開発目標」

2016年～2030年の15年間で持続可能な社会をつくることを目指し、17の大きな目標とそれらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**



貧困・飢餓など、開発途上国を対象とした8つの目標(MDGs)に、エネルギー問題や経済成長、気候変動、未来に向けた技術革新などを加えた17の目標(SDGs)へ拡大



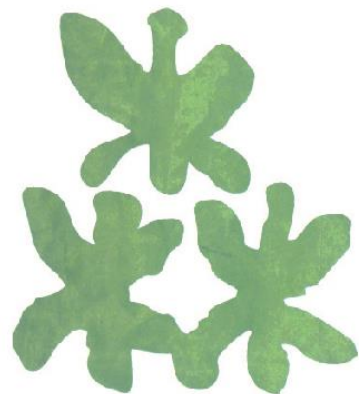
自然や生活・文化への理解を深め、 観光をはじめとする地域振興に寄与する 「日本型エコツーリズム」



エコツーリズムは、「地域ぐるみで自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を観光客に伝えることにより、その価値や大切さが理解され、保全につながっていくことを目指していく仕組み」です。日本型エコツーリズムは自然の中で育まれた生活や文化そして歴史も対象となります。

日本エコツーリズム協会は、地域や関連産業の皆様と一緒に、エコツーリズムによる環境保全型観光の定着に取組み、持続可能な「観光立国」の推進役として、奥深い日本の魅力を世界に発信して参ります。

ご清聴ありがとうございました。



**JAPAN
ECOTOURISM
SOCIETY**